

目次	ダイフクの 価値創造	CSR マネジメント	CSR アクション	ガバナンス	ESG データ集	社外からの 評価	CSR に関する 情報開示に ついて
----	---------------	---------------	--------------	-------	----------	-------------	--------------------------

目次 > CSR アクション > 地域・社会との良好な関係づくり

地域・社会との良好な関係づくり

基本的な考え方

地域・社会とのコミュニケーション

ダイフクは、生産や営業などの事業活動を行うために世界各地に数多くの拠点を有しています。主目的である事業活動を全うするためには、近隣地域との良好な関係づくりが欠かせません。そのため、国や地域によって異なる文化や法規制を理解し、ボランティア活動や各種団体との連携を通じて積極的なコミュニケーションを図っています。

株主・投資家とのコミュニケーション

IR 活動を通じて、株主・投資家の皆さまとの建設的な対話を促進することは、ダイフクの持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に重要な意義があります。ダイフクは、東京証券取引所が定める「コーポレートガバナンス・コード」に則り、「ダイフク コーポレートガバナンス・ガイドライン」を 2016 年 5 月に制定しました。本ガイドラインをベースに、株主さまの権利・平等性の確保、株主さまとの対話の両面での充実を図っています。

本テーマのマテリアリティと関連する SDGs 目標

マテリアリティ

- ・ 地域・社会とのコミュニケーションと社会貢献活動の促進
- ・ 株主・投資家とのコミュニケーション促進

CSR アクションプラン KPI・2020 年目標

- ・ 社会貢献活動への参加者数：2,000 名
- ・ 非財務情報を盛り込んだ統合報告書発行、ウェブサイト掲載
：アンケート等調査・評価を盛り込み、和英の統合報告書を継続発行
- ・ 個人投資家向け説明会参加者数
：新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2020 年度のイベントの参加・開催は自粛



ダイフクが目指す SDGs 目標

推進体制

地域・社会とのコミュニケーション

2017 年4月に発表した CSR の4カ年（2017～2020 年度）計画「CSR アクションプラン」では、「社会貢献活動への参加者数」の対象をグローバルに拡げ、新たな KPI として設定しました。国内では総務部門や環境経営推進委員会の主導で推進してきた地域との連携を継続し、社会に貢献していきます。

株主・投資家とのコミュニケーション

法令に基づく情報開示は開示委員会（委員長＝CEO）、それ以外の情報開示や対話は IR 室が中心となり、関係部門と連携して取り組んでいます。個人株主・投資家さま向けには、事業所見学会や IR フェア出展・証券会社説明会などを実施しています。広く一般の市民・消費者にダイフクへの理解を深めていただくことも目的としています。（新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2020 年度のイベントの参加・開催は自粛）

目次	ダイフクの 価値創造	CSR マネジメント	CSR アクション	ガバナンス	ESG データ集	社外からの 評価	CSR に関する 情報開示に ついて
----	---------------	---------------	--------------	-------	----------	-------------	--------------------------

目次 > CSR アクション > 地域・社会との良好な関係づくり

コミュニケーションの取り組み

> **KPI** (Key Performance Indicators) は CSR アクションプランの達成度を判断するための評価指標です。 [PDF](#) (515 KB)

[地域・社会とのつながり]

社会貢献活動への参加者数

KPI

2019 年度の目標 1,700 名に対して、3,597 名を達成しました。今後も情報共有による周知を行っていきます。

地域コミュニティへの投資

種別	内容	2019 年度投資額 (円)
環境保全	ダイフクエコアクションによる外部環境団体への寄付	3,230,000
	事業所近隣での清掃・緑化活動費	4,092,000
	生物多様性保全活動費	3,460,000
地域貢献	地域盛り上げ隊プロジェクトでの寄付・活動費	722,159
次世代育成	日に新た館への大学・専門学校・小中学校の受け入れ	1,365,000
合計		12,869,159

現地調達・現地雇用

ダイフクは、事業地域周辺からの調達を地元経済に貢献する活動の一環と考えています。主要拠点である滋賀事業所をはじめ、他の地域でも調達活動を通じて、地元の発展に尽力しています。また、雇用についても事業地域周辺からの採用を積極的に進め、安定した雇用機会を提供しています。今後も現地調達・現地雇用により、地域の活性化や地元経済の発展に貢献していきます。

近隣区災害時一時避難場所提供協定



2015 年 3 月、滋賀県日野町と近隣住民のための災害時の一時避難場所施設利用に関する協定を締結しました。同協定は、非常時における緊急避難場所として当社滋賀事業所を提供して欲しいという地元住民からのご要望によるもので、受け入れシミュレーションや滋賀事業所周辺の他企業との協定内容について確認を行ったのち、社会貢献の観点から今回の締結に至りました。

地域の美化活動



滋賀事業所のほど近くに、国の天然記念物に指定されている「しゃくなげ群落 (しゃくなげ溪)」があります。当社では 2005 年から、シーズン前の 4 月に日野観光協会主催の一斉清掃活動に参加しています。また、滋賀県が推進する「淡海エコフォスター制度」に 2001 年から参加し、事業所周辺の国道の清掃を毎月実施しています。

琵琶湖のヨシ刈り活動に参加



毎年、地元の住民・企業・環境保全団体などが一体となって取り組んでいる琵琶湖のヨシ刈り活動に、滋賀事業所の社員が参加しています。琵琶湖の生態系保全、水質浄化などの多様な機能を持つヨシ原を守るため、毎冬、長く生い茂ったヨシを刈り取って整備する必要があります。刈り取ったヨシは選別後、紙製品の原料として有効利用されます。

目次	ダイフクの 価値創造	CSR マネジメント	CSR アクション	ガバナンス	ESG データ集	社外からの 評価	CSR に関する 情報開示に ついて
----	---------------	---------------	--------------	-------	----------	-------------	--------------------------

目次 > CSR アクション > 地域・社会との良好な関係づくり

グラウンド・ゴルフ大会



2018 年度より、地域貢献の一環として、滋賀県日野町グラウンド・ゴルフ協会主催、当社協賛による「ダイフク杯グラウンド・ゴルフ大会」を開催しています。2019 年の第 2 回大会では、同町近隣の 12 市町村および三重県より計 398 名の方が参加されました。

地域盛り上げ隊プロジェクト



滋賀事業所では、2019 年度より、地域盛り上げ隊プロジェクトを発足し、近隣地域との交流や従業員に向けた地元名産品の紹介イベントを企画。イベントを通じてチャリティー募金を実施し、集まった募金は「日野町善意銀行」へ寄付しています。今後も積極的に学校や団体と連携し、地域活性化に貢献していきます。

職場見学会を開催



2019 年 8 月、東京本社で職場見学会「ダイフクキッズデー」を開催しました。社員の家族が普段見ることのない父親や母親の職場を見学することで、家族の絆を深めてもらうことが目的です。職場見学をはじめ、クイズ大会、ワークショップなどでコミュニケーションを図りました。

ハリケーン被災者に支援物資を寄付



2018 年 10 月、ハリケーン「マイケル」がアメリカ南部に上陸し大きな被害をもたらしました。Elite Line Services, Inc. では、被災者支援のために社員が物資を持ち寄り、同年 12 月にフロリダ州サウスポートのダブ教会に寄付。集めた支援物資は、毛布、掃除用品、枕、洗面用品に加え、洋服や靴など、600 世帯以上に届けられました。

[株主・投資家とのつながり]

非財務情報を盛り込んだ統合報告書発行、ウェブサイト掲載

KPI

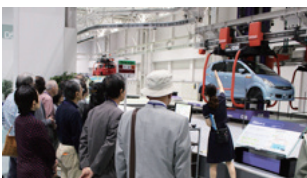
統合報告書「Daifuku Report 2019」を日本語・英語で発行し、初めて e-book 版も公開いたしました。ダイフクグループの価値創造にとって重要性の高い情報を簡潔にまとめております。

個人投資家向け説明会参加者数

KPI

2019 年度の目標 650 名以上に対して、293 名の実績となりました。コロナウイルス対策のため予定されていた説明会が開催されず、目標を下回りました。

株主さま向け「日に新た館」見学会



当社は、毎年、滋賀事業所内の展示場「日に新た館」において、株主さま向け見学会を開催しています。日頃、目にする機会が少ないため、実機を見ることで事業内容を身近に感じていただくことができます。2019 年度は、回数を増やしての 3 回開催で、各回 100 名程度の株主さまをお招きして、ご好評をいただきました。(新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2020 年度の見学会の開催は中止しました)